

市民の意見

発行：市民の意見30の会・東京

NO.139

2013/8/1

【毎月2日発行】



発行者の住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-29-12-305 TEL:03-3423-0185 FAX:03-3402-3218

共同代表：高橋武智 本野義雄 吉川勇一 郵便振替：00120-9-359506

eメール：iken30@mwb.biglobe.ne.jp ホームページ：http://www1.jca.apc.org/iken30

* 隔月刊/購読料・送料とも年2500円、一部400円、協力会費年5000円、敬老・障がい者会費年2000円、グリーン会費年1000円



小野春男「屏風絵『茄子』」

(無言館所蔵)

(作者の経歴は14ページ)

父が日本画家(小野竹喬)だった春男には、絵以外の道をあゆむことなど許されなかったのかもしれない。

ことのほか日本の草木、山河を愛した春男は、

京都絵画専門学校に入ってまもなく

友人と行った大原美術館で見たゴッホに感銘をうけ

画家としての純粋な精神を教えられたという。

春男の絵への探究心は戦地に行っても衰えることがなかった。

戦場でも絵筆やスケッチ帖を肌身はなさず

祖国への葉書にはいつも小さな花の絵がそえられてあった。

一年先輩の中隊長が中国戦線で春男と会ったとき

「幹部候補生を志願して内地に還るよう」とすすめたが

「将校になれば長く軍隊に留められる。早く帰って

絵を描きたいから」といって首をタテにふらなかつた。

中支の前線で敵兵の狙撃に遭った最後の日、

春男は異国の夜空に何を思いなが

ながいていたのだろうか。

(窪島誠一郎「無言館の詩」戦没学生「祈りの絵」第三集(講談社)より)

市民の意見 139号 目次

●巻頭詩 「さくら ふくしま」 青山晴江 2

●特別寄稿 あらゆるものが低価格競争の波に 内田聖子 4

●特集1 韓国・朝鮮と日本 北朝鮮の「先軍」から「先民」を願いながら 平井久志 7

民主主義のもとで民主主義を殺さないために 玄 香実 9

「歴史認識」の違いを知ることから 金 英丸 11

歴史認識問題を自分の「持ち場」から考える 吉田 裕 13

関東大震災90年によせて 榎本久喜治 15

●特集2 九条実現のために 秘密保全法について 町田伸一 17

非暴力と反軍の9条 (2) 古沢宣慶 19

●運動の現場から ピースおおさかの危機と市民運動 文箭祥人 21

憲法集会を始めて14年 塚本清一 23

●3・11を忘れない 「福島 六ヶ所 未来への伝言」 島田 恵 24

封印した記憶を解いてみる 小沼絨美 25

●文化 反戦交友録⑭「沈黙の部分に耳を傾けて欲しい」 吉川勇一 26

連載エッセイ③⑥「動的な来歴」 鈴木一誌 27

映画の紹介 『黒いスーツを着た男』 本野義雄 28

本の紹介 朝日新聞「プロメテウスの罠」 天野恵一 29

まんが ふしぎの国のありか④ まつだたえこ 36

●情報 事務局だより 吉田和雄 30

読者のおたより 31 会計報告 35 編集後記 36

●題字 安西賢誠 ◆カット 村雲 司